

獣医師の就業環境の未来を考える

—すべての獣医師が働きやすい職場づくりに向けた取組 (Ⅳ)—

(公社)宮城県獣医師会における女性獣医師支援対策 ワーキンググループの活動状況について

渡邊 文[†] ((公社)宮城県獣医師会)



1 宮城県獣医師会の現況

宮城県獣医師会における女性会員の現況は、令和4年4月1日現在、会員数378名中、女性獣医師は76名と、割合は約20%で、うち役員には2名(副会長1名・理事1名)が就任している。勤務女性獣医師の中には、結婚や子育て育児を機に退会したり、夫婦が獣医師である場合、入会していないことがあり、未加入者が多いことが課題となっている。

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、輝く日本を構築するための政策が掲げられ、その中に「女性が活躍できる環境整備を推進する」とされた。日本獣医師会でも女性獣医師がより働きやすい環境づくりのため女性獣医師支援特別委員会を設置し、さまざまな取組を実施してきている。その後、この委員会の活動は継続され、女性獣医師活躍推進委員会として活動している。

2 女性獣医師のためのワーキンググループ

本会でも、女性獣医師の就業環境改善を図る目的で平成30年に5名の女性獣医師(開業2名・公務員2名・農林1名)+相談役3名で女性獣医師支援対策ワーキンググループを発足させた。検討会の中で、本会の女性獣医師が各職場で置かれている状況を把握するためには、アンケートを実施すべきとの意見が出されたため県内在住の女性獣医師を対象に調査を行った。本来は非会員へのアンケートも実施したかったが種々の理由により困難であり、新たな課題として非会員への情報提供が浮上した。

その結果は、日本獣医師会が実施したアンケート結果と共通点が多く、①公務員・産業動物臨床獣医師不足②休暇等の制度的就業環境は整備されているが、権利行使が困難③妊娠中及び育児と仕事との両立に対する不

安④産休・育休中の職場への負担・復帰後の技能低下⑤臨床分野における長時間労働⑥育児休業・介護休暇の整備等、さまざまな課題が顕在化した。また、女性の就業支援のために実施して欲しいことや獣医師会への要望として、①産休・育休をはじめとした長期休業中や短期労働の臨時職員の確保②代替獣医師登録制度やそれに伴う開業獣医師間における地域ネットワークの構築③知識・技術習得機会や講習会参加時の託児所等の設備④他職域の女性獣医師との情報交換の場の設置⑤獣医師会費の準会員制度の創設等の意見が出された。

3 研修会の開催

その後、日本獣医師会の女性獣医師活躍推進委員会メンバーの宮城県獣医師会副会長から概要について報告を受け、助言をいただき意見交換を行った。メンバーから勤務獣医師の中には、労働者を取り巻く法律を理解できていない、また、動物病院によっては就業規則が定められていないところもあるのではないかなど意見が出されたため、今年2月に労働者に係る法律等を習得することを目的にオンラインでの講演会を開催した。講師に社会保険労務士を招き、「女性が働き続けるために知っておきたい法律」と題して講演会を行った。講演の内容は、ワーク・ライフ・バランス、男女雇用機会均等法、労働基準法関連、育児・介護休業法、労働施策総合推進法及び働く女性のセーフティネット等と身近で幅広い内容のため、参加された先生方から多くの質問が出され、大変有意義な講演会となった。また、アンケートの対応として、令和4年度東北地区獣医師大会(岩手県獣医師会主催)において、本会から日本獣医師会に対し要望した「産業動物診療獣医師・公務員獣医師の確保対策」の内容にグループの意見を反映させた。

わが国の20~30代の女性獣医師は全獣医師の半数を占めており(農林水産省調査、令和2年2月)、従来の女性獣医師が珍しい時代の就業形態では立ち行かなくな

[†] 連絡責任者：渡邊 文 ((公社)宮城県獣医師会)

ると考えられ、女性の家庭及び就労環境の課題を解決していく必要がある。他方、アンケートで明確となった就労の課題は、女性に限らず獣医師全体に当てはまるものも多数見受けられた。

4 最 後 に

メンバーの中には、「子育てをしながら小動物病院を経営し、時には診察台下で遊ばせながら、また子どもが病気の際は親・知人・ベビーシッターなどさまざまな方にお世話になりながら仕事をしてきた。振り返ると家事・子育て等に関しては女性への負担が大きいものであった。現在は社会的支援や夫婦間の協力体制は隔世の感があるが、社会的サポートは決して十分なものとは思

われない」との意見も寄せられている。

今般のグループが実施したアンケートにより女性獣医師が置かれた状況を把握できたことで、今後も女性獣医師の就労環境等の改善に向けた活動を行うと共に、これから夢を抱いた若い世代の全ての獣医師が充実した仕事に就けるよう継続していきたいと考えている。

また、日本獣医師会ホームページにも、今回のアンケートに応えられるコンテンツが用意されていることを広く会員に知らせ活用を図っていきたい。

最後にこの活動を通して、魅力ある獣医師会として未加入の皆様にもご賛同いただけるようにさまざまな活動を行っていききたいと思う。